

| | | |
|--|---------------|------|
| 授 業 科 目 名 | | 授業時間 |
| 電力系統工学 | | 1.5 |
| 担 当 講 師 名 | 所 属 | |
| 田島 克文 | 秋田大学大学院理工学研究科 | |
| 授業の目的 再生可能エネルギー源を既存の電力系統に繋げて電力供給を行うための種々の方策と課題に関して理解することを目的とする。 | | |
| 授業の概要 再生可能エネルギーはその多くは電力変換され、既存の電力系統に電力供給（系統連系）されることが多い。しかし、発電量が不安定で時間変動する再生可能エネルギー源を系統連系する際、電力品質（周波数・電圧）維持のため、種々の方策が必要となる。この授業では通常の火力・水力・原子力発電所などの電源を系統連系する際の一般的な手法と、再生可能エネルギー源を系統連係する際の手法について解説する。 | | |
| 受講生の達成目標 (1) 電源を系統連系する際の一般的な方策を理解する。 (2) 再生可能エネルギー源を系統連系する際の方策と注意事項を理解する。 | | |
| 成績評価の方法と基準 講義内容に沿って、演習、レポート、小テストなどを課し、総合的な達成度の評価を行う。 各種課題、レポートなどを総合評価し、60%以上の達成度で合格とする。 | | |
| 教科書・参考書 教科書等は用いない。配布資料等により授業を進める予定。 | | |